

ほっこり子育てひろば ニュース

ほっこり子育てひろばは、孤立しがちな保護者が、他の保護者や地域とつながり、互いに課題の解決ができるようなきっかけを提供する「親支援プログラム」です。そのため、専門職が、コーディネートを行います。あくまでも、保護者同士がコミュニケーションをとれる環境づくりが大切です。

これは、「子どもと共に育む京都市民憲章」の趣旨を踏まえ、親自身が喜びと共に子どもを育てていけるよう、「親としての心構えや必要な技術」を身につけるとともに、不安や疑問、悩みを乗り越えるためのプログラムです。

すでに、民間・公立幼稚園、保育園（所）、児童館、保健センター、つどいの広場等様々な子育て支援施設において実施していただいています。

さらに、地域における開催数増加及び質の向上に向けて、各施設の取組内容を参考にいただくため、実施施設からご提出いただいたご報告を紹介する「ほっこり子育てひろばニュース」を発行することとしました。

支援者が感じた保護者の成長、生の声、事業実施に当たっての工夫や失敗談など、今後の「ほっこり子育てひろば」の運営に役立ててください。

実施施設の取組事例

親子でいっしょにあそぼう 既存事業 市幼稚園	
達成できたこと	子育ての楽しさを感じる。悩みを共有し、解決に向けて意見を出し合う。
達成できなかったこと	—
実施者の評価・反省 今後の課題	オルゴールを聴き、リラックスできたことや歌と一緒に歌うことで、楽しさを共有できた。特に「こころのねっこ」を歌い、こどもの成長を感じたり、自分（保護者）への応援歌として勇気付けられたりしたと感想が聞けた。 子育ての悩みを話し合いの中で、「最後は自分（親）の見方一つで子どもを受け入れた」ことや「スキンシップもできる今が子どもにとってうれしい幸せな時間」ということなど各自の心に迫る保護者同士の話し合いにつながった。

自我のめばえと生活習慣 既存事業 市保育所	
達成できたこと	ほっこり子育てひろばの中に載っていたエピソードをもとに保護者と家での子どもの様子や自己主張が強くなってきたことでの困っていることなどを話し合えた。
達成できなかったこと	保護者同士で意見交換して欲しかったが、保護者と保育士の意見交換になってしまった。
実施者の評価・ 反省 今後の課題	ワークシートのエピソードを読み上げたことで、それぞれの保護者が家庭や子どもの様子を話すきっかけとなっていたと思う。保護者同士も同じ年齢の子どもを持つ家の話を聞くことができ、自己主張が強いのはうちの家だけではなくどこも一緒なのだ安心してたり、互いの家の子どもの姿に笑いあうなどほっこりとした時間を過ごせていたように思う。今回は、初めての取組に保育士も手探りだったので保育士が保護者同士の話しに積極的に入りすぎたことが一つの反省点である。話の話題を提供してもう少し保護者同士で話が広がるように出来たらよかった。

自我のめばえと生活習慣 既存事業 市保育所 民営保育園，区役所子ども支援センター，保健センターと合同実施	
達成できたこと	グループ交流で悩んでいるのは自分だけではないと感じてもらうことができた。
達成できなかったこと	交流はできたが、実際に親同士をつなげるまでは不十分だった。
実施者の評価・ 反省 今後の課題	グループ交流で悩んでいるのは自分だけではないと感じたり、同じ子育て中のお母さんと話したり話が聞けてよかったと感じてもらうことができた。 事前申込みをしていなかったため、当日にならないと参加者数などがわからない現状はあるが、受付時に年齢や月齢でグループ分けすることができた。同じ位の月齢でグループ分けをしたので、共通の話題があって交流がスムーズだった。保健師のワンポイントアドバイスは、あまり時間がとれなかったが、資料があってよりわかりやすくよかった。0歳児の参加が多いので、対象を0・1歳児とした経過があるが、今後もそれでよいのか、スタッフの体制や人数など検討が必要と考えられる。民営園との共催は今年度で3回目となり、少しずつ民営園との連携ができつつある。

つながる 既存事業（ぴよぴよ広場） つどいの広場	
達成できたこと	—
達成できなかったこと	—
実施者の評価・ 反省 今後の課題	防災の日の翌日ということもあり，避難の際の持ち物，ローリングストック，家族間で普段から話し合っておくこと，右京の避難場所の情報提供も行った。いつも通り，親同士で悩みの共有，アドバイスもあった。災害時に子連れでどうするのか，考えてもらうきっかけになった。

親子でいっしょにあそぼう 新たに実施 児童館	
達成できたこと	悩みの相談や共有。自分一人の悩みではないと感じていただけた。
達成できなかったこと	—
実施者の評価・ 反省 今後の課題	2歳ということ，イヤイヤ期が始まった中，どのように子どもと関わるのかという悩みが多かった。また，姉のいるお母さん方から上の子の時の話，今の下の子への対応など話していただき，子育ての中で困っている事が，他の方も同じなんですねとほっとした表情も見られた。遊びたがるお子さんへの保育が難しく，落ち着いて話していただくことが課題。

こどもみらい館で実施したときの様子です。既存事業「井戸端会議」で実施しました。



認める 既存事業（クラス別懇談会） 市保育所	
達成できたこと	保護者の思いを出し合え，意見交流することができた。
達成できなかったこと	—
実施者の評価・ 反省 今後の課題	それぞれの保護者が，どのように子どものことを思っているのかをお互いに知ることができ，話し合うことが出来て安心している姿があり，実施できてよかった。 また，子どものよいところを伝えるために，“その場で褒めてギュッと抱きしめてあげる”“お父さんが帰ってきたときに，そのことを子どもの目の前で伝える”ということを実践されているという話を聞き，「自分もやってきます」と参考にされる姿があり，よかった。



Information

こどもみらい館は、ほっこり子育てひろばの妊娠期・乳幼児期の事務局を担っています。ほっこり子育てひろばの運営や報告書の記載方法等，わからないことがありましたら，ご遠慮なくご相談ください。

また，こどもみらい館において，ほっこり子育てひろばを年10回モデル実施しています。見学も受け付けておりますので，お問い合わせください。（定員があります）

必要に応じて，実施施設にお伺いすることも出来ます。

平成28年4月発行